1	1 基礎情報												
	事業名 (子事業名)	)		商店街共	同施設補助	助金			所属部等	産業文化スポーツ部	事業番号		152
Г	予算区分			その他	の経費事業				所属課等	商業観光課			
Г	予算科目	会	計 01	款 35 項 05 目 1	0 親事業	250	子事業	25	所属係等	商業振興係			
2	計画	(Dlar		<u> </u>					II.				
ŕ		(Flai	1) 基本政策						3	事業区分	令和7年度	子質王	現額の内訳
4	総合計画体系	<u>z</u>	ラブブブブ 基本施策	自動表示						よる義務的事業	項目(節)		金額(千円)
"	<b>◎口可凹件</b> 7	1//	単位施策	自動表示					_	こよる義務的事業	負担金、補助及び		
H		///	)単年度の		,,,,,,,,,	<u>//////</u> 在度 H	//////// I26 年)	///// ( 使 )		こよる義務的事業	72 EC 111932	, XII I	0, 070
	事業の期間	]   _		複数年度(	~	+/2 ''	年度)	<b>X</b> 7	○ 施設等維持				
H			州间胶足	後奴牛及 (			十尺)		● 補助金等3				
L				するアーケードや街 街路灯などの維持管				・改修	○協議会等の				
			前助率	国町別なこの作団目	生に交りの日	电双行飞音	m140 7 20 °		○その他の				
L	事業概要	①#	推持管理事	(LED灯) : 95°						·····································	<u> </u>		
	尹未恢女	② 方	を設設置・		: 33%以内				ער	()地名 [] 书			
L		(D) #	布設撤去		え1000万以下  える) : 20%		以内		厚木市商業等	団体共同利用施設設			
		3/1	也政拟云	: 50%以内					置事業等補助	金交付要綱	合計		8, 370
H	計争												
目的	対象 (誰を・ を)	何 商/	吉会		意図 (どうした	() :いか)			図ることを目的 プが期待される	的とし、商店街に明る る。	5さと活気を与;	え、集	客力の向上と
H													
Ŀ	手段 (どうやって	) 商/	吉会が設置	置するアーケードや	衝路灯など	の共同利	用施設を	·新設·	改修する費用。	と、街路灯などの維持	<b>持管理に要する</b>	電気料	を補助する。
_		_	現状把握	・実施(Do)へ									
3	現状排	で握・	実施	(Do)									
(	1)事業	費・指	標の推	多				単位	令和5年度 (決算実績)		令和7年度 (予算現額)		令和8年度 (予算見込)
Н					玉	庫支出金	<del></del>	千円	(人并大限)	(人并无达)	() 并犹积/		(了并无匹)
					ļ	県支出金		千円	ļ				
				財源内訳	地方債			千円					
		=	事業費		その他			千円					
L					-	一般財源		千円	6, 27	8 6,916	8, 370	)	8, 500
L	年間 トータル			-	事業費計(A	<b>(</b> )		千円	6, 27	8 6,916	8, 370	)	8, 500
L	コスト				業務に	に必要な	人工	人	1.	0 1.0	1. (	)	1. 0
			1.44 建	正規職員	延べ業	務時間	(年)	時間	8	0 80	80	)	80
			人件費		平均.	人件費(	年)	千円	8, 64	6 8,884	8, 884	4	8, 884
					人件費計(E	3)	_	千円	8, 64	6 8,884	8, 884	4	8, 884
				(A) +	(B)			千円	14, 92	4 15, 800	17, 25	1	17, 384
対	象数の推移		方向		市内商店会	数			1	3 12	12	2	12
汪	動指標				<u> </u>		目標			12 12		12	12
	経常・その	他)	方向	→ 補助対	象の商店会	数	実績		·	12 12			
成	果指標												
	総合計画)												
(	2) この	事務事	業の背	<del>////////////////////////////////////</del>	.,,,,,,,,,							1100	
1		義会等)	からどの	働の担い手、民間 ような意見や要望		去を進め	たいとい	う声がみ	みられる。				
2				た改善や見直し等 指摘事項を含	特になし。								
3	・事業の対 (複数回名		の周知力	:法は?	□広報あ		☑ 市ホー	-ムペー	ジ □公民館	だより 口 ポスタ	<b>!</b> ー・チラシ		SNS )
4	・他市の <sup>お</sup> 較)	犬況は?											

4	評価(Check)				
Г	① 社会的な要請	○ 必要性は薄れている (A)	妥当	理	
	・社会的背景や事業環境の変化を踏まえ、現 在の社会・経済問題として対応する必要があ るか?	● 必要性がある(B)	χ ¬	由	
	② 対象者のニーズ	○ 減少する見込み(A)	妥当	理	
必要	・対象者のニーズや利用者の需要・要望は増 えているか?	● 横ばい・増加する見込み(B)	女ョ	由	
	③ 行政関与の必要性	〇可能である(A)	妥当	理	
	・この事業は、行政が実施する必要がある か?民間やNPOなどでも実施可能か?	● 可能ではない(B)	女크	由	
	④ 廃止した場合の影響	○影響がない(A)	妥当	内	
L	・この事業を廃止した場合、どのような影響 があるのか?	● 影響がある(B)	女当	容	
	⑤ 指標の達成度・EBPM※1の考え方	○ 未達成(A)		理	
	・指標の目標値は達成できたか?達成できなかった場合、その理由は何か?	● 達成(B)	妥当	由	
	・指標や目標値の設定根拠は? (エビデンスに基づく合理的な根拠)	達 R6活動指標 100.0 %成		指標の	補助対象団体が12商店会であること。
		率 86成果指標////////////////////////////////////		根拠	
有効		〇貢献できなかった(A)		理	
	か。貢献できなかった場合、その理由は何か?		妥当	由	
	・具体的な成果の内容は?			成果	補助対象団体に対し、電気料金及び撤去費用を補助した。
	⑦ 類似事業との統廃合・連携の可能性	〇可能性がある(A)	妥当	理	
L	・同じ目的を持つ類似の事業があり、統廃 合・連携はできるか?	● 可能性がない(B)	女当	由	
	⑧ 費用対効果の向上	○ 余地がある(A)			
効率	・随意契約から入札への変更、デジタル化・ DX、外部委託、指定管理者制度、PFS/SIB※2 等により、事業費の削減・費用対効果の向上 は可能か?	● 余地がない(B)	妥当	理由	補助対象団体に対し、補助金交付のみを行うため。
性	<ul><li>⑨ 業務効率化(業務時間・業務量の改善)</li></ul>	〇余地がある(A)			
	・作業の見直しや業務改善、デジタル化・ DX、外部委託、指定管理者制度等により、業 務の効率化は可能か?	● 余地がない(B)	妥当	理由	
	⑩ 受益者負担の適正化	〇 なっていない(A)		理	
公平	・受益者負担は公平・公正になっているか?	● なっている・受益者負担には 該当しない(B)	妥当	由	
	⑪ 制度の周知	〇できていない (A)	157 V	理	市ホームページをはじめ、補助対象団体(商店会)へ個別
	・対象者が公平にサービスを受けられるよう、制度を十分に周知できているか?	<ul><li>できている・周知の必要がない(B)</li></ul>	妥当		の通知を送付している。

※1 EBPM (Evidence-based Policy Making) …政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化した上で合理的根拠(エビデンス)に基づくものとす ※2 PFS (Pay For Success) …行政課題の解決に対応した成果指標を設定し、指標値の改善状況に連動して委託費等を支払う契約方式 SIB (Social Impact Bond) …事業に係る 資金調達を金融機関等の資金提供者から行い 、その 返済等を成果に連動した地方公共団体からの支払額等に応じて行うもの

→ 改善 (Action) へ 4 評価 (Check) で (A) を選択した場合は、「(2)担当課による今後の取組」欄に反映してください。

#### 5 改善 (Action) (1) 事業継続の評価及び見直しの区分 所管課長評価 手法の適正率 見直し判定 見直し区分(複数選択可) 事業の適合率 評価の判定基準 ▶▶▶ 80%以上 □ コスト見直し □ PFS・SIB導入 ⇒ 拡大or継続 見直 <mark>必要性</mark> 妥当 効率性 妥当 次 現行ど 70%以上80%未満 ⇒ □ 作業工程等見直し □ 事業の統廃合・連携 継続 継続 評 100 100 60%以上70%未満 ⇒ 継続or縮小 □ デジタル化・DX □ 負担や周知の見直し 区 おり 有効性 妥当 公平性 妥当 分 ⇒ 縮小or廃止 」 委託・指定管理 □ その他 % 60%未満 (2) 担当課による今後の取組 事業推進上の課題 具体的な改善案 備考 今後の

総評 (Follow) へ

6	総評(Follow)		
	所管部長評	価	具体的な指示事項
	一次評価結果を踏まえた 横断的な視点での評価	継続	引き続き、商店会の意向や電気料の価格の変動に注視して、適切な補助を行っていくこと。

1 基礎作	李起					_										
事業名	門刊			£8 √/ +/ <del>-</del> =1	\	<b>上</b> 佐 四 吉					正层如体	작도 귀는 그	ナルコギ いか	市米平口		152
(子事業名)	)			観光施設	<b>文維</b>	守官埋事	<b>耒賀</b>				所属部等	座乗り	て化スポーツ部	事業番号		153
予算区分					常紹	<b>圣費事業</b>					所属課等	商	i業観光課			
予算科目	会	計 01	款	35 項 05 目	15	親事業	250	子事:	業	05	所属係等	馥	1.光振興係			
2 計画	(Plar	1)														
		基本政策		//////////////////////////////////////	彖//						=	事業区分	<del>}</del>	令和7年	度予算:	現額の内訳
総合計画体系	系 ///	基本施策		自動表	标//						○国の制度に	こよる郭	<b>養務的事業</b>	項目(節	)	金額 (千円)
		単位施第		自動表	<b>录</b> //						○県の制度に	こよる乳	<b>養務的事業</b>	需用費		113
		単年度の	<i>のみ</i>	● 単年度	////	(開始:	年度	/////	年度	<i>[</i> )	○市の制度に	こよる乳	<b>養務的事業</b>	役務費		2, 12
事業の期間		)期間限2	定複	数年度(		~		年月	度)		● 施設等維持	寺管理事	業	委託料		6, 699
											( 補助金等3	交付事業	Ę	使用料及び賃	責借料	5, 870
											○協議会等の	の負担金	<u> </u>	負担金、補助及	び交付金	1, 059
	And a	le et e	11/2	eu. a. da a	• ^ ~	**************************************	~	&r:	٠.١. ځ	*- LL	○その他の事	事業				
事業概要	公	園、ハイ	キン	便性や安心、安 ✓グコース、観	光ト	イレ、七	沢観光第				根	拠法令	等			
	地	合等の観	力亡州	<b>延設の維持管理</b>	ど返	動列に打り	0									
														合計		15, 868
目 対象 (誰を・何	(元) 組上	光施設				意図		利化	<b>盾性</b> 。	や安心	、安全を確保し	1 季1	十入れ環境の向	1トにつかげる		
的を)	100	心心以				(どうした	いか)	491	区正	\ 女心	、女主で唯体し	U, XI	) / (4 USR 55L V )   H	1工に うない の		
手段	観	光施設の	維持	F管理を適切に でである おおおお おおおお かっぱん かんごう かんごう かんごう かんごう かんごう かんしゅう かんしゅ かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゅ かんしゅん かんしゃ かんしゅん かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんし	:行う											
(どうやって	)	-														
3 現状排	_	現状把握	_	実施(Do)へ Ia)												
				(0)					T	単位	令和5年度	Ę	令和6年度	令和7年度	E	令和8年度
(1)事業	貝:作	信が	-139								(決算実績)	)	(決算見込)	(予算現額)		(予算見込)
					·		庫支出:			千円						
				財源内訳	ļ	県支出金				千円						
	3	事業費		划冰内扒		地方債				千円						
					ļ	その他 				千円	15, 750 15, 956			17, 59	8	17, 598
年間 トータル			L		事等	業費計(A				千円	15, 75		15, 956	17, 59		17, 598
コスト							こ必要な	工人に		人	0.		0. 1	0.		0. 1
				正規職員	<b></b>		務時間			時間	2		20		0	20
	,	人件費					人件費(			千円	8, 64		8, 884	8, 88		8, 884
			l.		人作	牛費計(B	;)			千円	51	9	533	53	3	533
				(A) +	- (1	в)				千円	16, 26	9	16, 489	18, 13	1	18, 131
対象数の推移		方向	$\rightarrow$		匍	見光施設数	(			個	4	4	44	4	4	44
<b>注動                                    </b>			$\ \cdot\ $					目	標			44	44		44	44
活動指標 (経常・その <sup>・</sup>	他)	方向	$\rightarrow$	観光加	Έ設σ	)維持管理	!数		<b>ミ績</b>	個		44	44			
成果指標								////	/李/							
成果指標 (総合計画)																
(2) この	事務事	<i>/////</i> 業の背	·// i景	<u>//////</u> ・市民意見等	<i>////</i> 等	<u> </u>		<u> </u>			·/////////////////////////////////////	·//X//		H11111111	1114	,,,,,,,,,,,
・関係者(市民、地域、協働の担い手、民間 事業者、議会等)からどのような意見や要望 が寄せられているか?					関係団体だ	いら観光	施設等	筝の危	立険個月	<b>析の補修が求め</b>	られて	いる。				
・直近3か年以内に実施した改善や見直し等 の内容は?(監査等からの指摘事項を含 む。)					適切な維持	寺管理を	行って	こいる	) <sub>0</sub>							
③ ・事業の対 (複数回答		への周知	方法	は?		<ul><li>□ 広報あつぎ □ 市ホームページ □ 公民館だより □ ポスター・チラシ □ SNS</li><li>□ その他 (周知を行う事業ではない)</li></ul>										
・他市の状況は?(県内や類似団体との比     ・						☑ その他 (周知を行う事業ではない )   各自治体についても、観光施設の維持管理を随時実施している。										

				評価	(Che	ck)
4	評値	西 (	Che	ck)		
		的な				
	・社会的 在の社会 るか?	内背景 会・経	や事 済問	業環境 題とし	の変化 て対応	をよする

4	· 評価 (Check)							
	① 社会的な要請	0	必要性は薄れている(A)	= u	理			
ı	・社会的背景や事業環境の変化を踏まえ、現 在の社会・経済問題として対応する必要があ るか?	•	必要性がある(B)	妥当	由			
	② 対象者のニーズ	0	減少する見込み(A)	亞北	理			
必要		•	横ばい・増加する見込み(B)	妥当	由			
性		0	可能である(A)	亚业	理			
ı	・この事業は、行政が実施する必要がある か?民間やNPOなどでも実施可能か?	•	可能ではない(B)	妥当	由			
	④ 廃止した場合の影響	0	影響がない(A)	巫业	内			
L	・この事業を廃止した場合、どのような影響 があるのか?	•	影響がある(B)	妥当	容			
	⑤ 指標の達成度・EBPM※Iの考え方	0	未達成(A)		<b>T</b> III			
ı	・指標の目標値は達成できたか?達成できな かった場合、その理由は何か?	◉	達成(B)	妥当	理由			
	・指標や目標値の設定根拠は? (エビデンスに基づく合理的な根拠)	達	R6活動指標 100.0 %	21	指標			
ı		成率	R6成果指標////////////////////////////////////		の根拠	観光施設数		
有		C	貢献できなかった(A)	妥当				
効性	・この事業は、意図した目的に貢献できた か。貢献できなかった場合、その理由は何 か?	◉	貢献できた(B)					
ı	・具体的な成果の内容は?					観光施設の適切な維持管理を行い、利用者の不便にならな いようにできたため		
L	⑦ 類似事業との統廃合・連携の可能性	O	可能性がある(A)	<b>-1</b>	理			
L	・同じ目的を持つ類似の事業があり、統廃 合・連携はできるか?	•	可能性がない(B)	妥当	由			
	⑧ 費用対効果の向上	•	余地がある(A)					
効率		0	余地がない(B)	見直し	理由	随意契約から入札への変更の余地がある事業もあるため。		
性	⑨ 業務効率化(業務時間・業務量の改	0						
ı	善) ・作業の見直しや業務改善、デジタル化・ DX、外部委託、指定管理者制度等により、業務の効率化は可能か?	•	余地がない(B)	妥当		適切な維持管理のためには、業務を効率化することは難しい。		
Г	⑩ 受益者負担の適正化	0	なっていない(A)		тш			
公平	・受益者負担は公平・公正になっているか?	•	なっている・受益者負担には 該当しない(B)	妥当	理由	受益者負担事業ではないため。		
性		0	できていない(A)		珊			
	・対象者が公平にサービスを受けられるよう、制度を十分に周知できているか?	•	い (B)	妥当	理由	周知の必要がないため。		
_	※1 EBPM (Evidence-based Policy Making) …政 ※2 PFS (Pay For Success) …行政課題の解決に					政策目的を明確化した上で合理的根拠(エビデンス)に基づくものとす  委託費等を支払う契約方式		
	SIB (Social Impact Bond) …事業に係る 資金		達を金融機関等の資金提供者から行い	、、その 返	済等	を成果に連動した地方公共団体からの支払額等に応じて行うもの		
_	<b>改善 (Action) へ</b> 4 評価 (Check) で (A) を選択した場合は、「(2)担当課による今後の取組」欄に反映してください。							

## 5 改善 (Action)

### (1) 事業継続の評価及び見直しの区分

_ \	「「)学来を続め計画及び光直との巨力														
Γ.	1	事業の通	適合率	評価の判定	基準	<b>≛ ▶</b> ▶▶	所管課長評価		手法の適ご	E率	見直し判定		見直し区分	(複觜	)選択可)
_	心亜性	妥当		80%以上	$\Rightarrow$	拡大or継続		見	効率性 見直し			Z	コスト見直し		PFS・SIB導入
次	必要性	<b>X</b> =	100 70%以上80%未満 → 継続 <b>総装 総装 総装 総装</b>		直	別年任 見直じ		要改善	П	作業工程等見直し		事業の統廃合・連携			
価	有効性	妥当	100	60%以上70%未満	⇒	継続or縮小	和企和冗	区区		00	安以音		デジタル化・DX		負担や周知の見直し
	有劝压	女ヨ	%	60%未満	⇒	縮小or廃止		分	公十任 女当	%		П	委託・指定管理		その他
(	(2)担当課による今後の取組														

(2)に山をころのマダウを直		
事業推進上の課題	具体的な改善案	備考
今観光施設等の適切な維持管理が求められ         後でいる。         の取         組	関係団体等と連携を図り、観光施設等の適切な維持管理を行う。	
40-F /F II \		

── 総評 (Follow)へ

### 6 総評 (Follow)

	, ,		
	所管部長評	価	具体的な指示事項
1	2 マー次評価結果を踏まえた ・ 横断的な視点での評価 ・		引き続き、良好な状態で観光施設の運用が図れるように定期的な点検を行い、自然災害等での大規模な設備 破損を防げるように適切な維持管理を進めていくこと。

1 基礎	基礎情報														
事業名 (子事業名	)			観光案	内事業費	}			所属部等	産業文化スポーツ部	事業番号	154			
予算区分				経常	経費事業				所属課等	商業観光課					
予算科目	会	計 01	款	35 項 05 目 15	親事業	400	子事業	30	所属係等	観光振興係					
. 17	<b>(D)</b>	\				<u>!</u>									
2 計画	(Plar	1 <i>)</i> 基本政策	4//	//// 自動表示/				/////	_	事業区分	会和 7 年度	予算現額の内訳			
総合計画体	<u>z</u>			自動表示						よる義務的事業	項目(節)	金額(千円)			
松口田四件	///	单位施罗		自動表示						こよる義務的事業	委託料	7035			
		)単年度(	///	///////////////////////////////////////	反 (開始	<u>///////</u> 年度 H26以F	前は不明 年	<u>//////</u> 度)		こよる義務的事業	21011				
事業の期間	1	期間限			~		年度)		()施設等維持						
		7771-71247					1,27		○ 補助金等3						
									○その他の事	事業					
事業概要				を内所及び東丹沢 四介等の観光案内					根						
	びま	秀客拡大	でを図	<b>3</b> る。											
											合計	7035			
対象(誰を・	<b>何</b> 細斗	光客			意図		利価州	: 向 ト 刄	び誘客拡大を	<u></u>					
的 (離を・ を)	157   街儿 /	u Tř			(どうした	こいか)	作灰性	-1四上/火	∪ №7 台 1/41八 で [	<b>□ 0</b> /0					
手段					七沢観光案	内所にお	いて、観	光施設	や宿泊施設、	観光土産品、観光特別	産品等を紹介する	とともに、観光情			
(2)450	ですかって) 報の発信を行う。														
3 現状:	把握•	実施		実施(Do)へ Do)					-	_	-	_			
(1)事業								単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	. 其 . 15	175 07 10	エイン		T .	10年士山名			(決算実績)	(決算見込)	(予算現額)	(予算見込)			
						国庫支出金 		千円							
				財源内訳				千円	 						
	Ę	事業費		7711111111		その他		千円							
						一般財源		千円	6, 90	0 6, 937	7, 035	7, 135			
年間 トータル			ļ	事	業費計(A	١)		千円	6, 90	0 6, 937	7, 035	7, 135			
コスト					業務	に必要な	人工	人	2.	0 2.0	2.0	2. 0			
		人件費		正規職員	延べ業	<b>終時間</b>	(年)	時間	4, 59	0 4, 590	4, 237	4, 237			
		VIF貝			平均	人件費(	年)	千円	8, 64	6 8,884	8, 884	8, 884			
					件費計(E	3)		千円	17, 29		17, 768	17, 768			
	1	1		(A) + (	(B)			千円	24, 19	2 24, 705	24, 803	24, 903			
対象数の推移	;	方向	1	7	人込観光客	数		人	2, 096, 17	0 1, 933, 781	現時点では不明	現時点では不明			
舌動指標		方向	1	7, 27	観光客数		目標	人	1, 998, 00	0 2,000,000	2,002,000	2,004,000			
(経常・その	(他)	231-3		7.2	机儿台双		実績	^	2, 096, 17	0 1, 933, 781					
成果指標 (約051 天)		<b>/</b>													
(総合計画)										<u> </u>		X <i>IIII</i> 111111111111111111111111111111111			
				・市民意見等	ı										
	議会等)	からど		の担い手、民間 うな意見や要望						を生かした観光案内 マーサービスの向上を		大するインバウン			
・直近37 の内容は む。)				改善や見直し等 摘事項を含						工閑散時間帯がある東 半う増額幅の抑制を図		内所の開所時間を			
③ ・事業の (複数回		の周知	方法	:lt?	□広報あ										
<ul><li>他市の</li><li>較)</li></ul>	状況は?	(県内	や類	似団体との比			は?(県内や類似団体との比 県内のほぼ全ての自治体で観光案内所を運営している。								

4	評価(Check)					
	① 社会的な要請	0	必要性は薄れている(A)		理	
	・社会的背景や事業環境の変化を踏まえ、現 在の社会・経済問題として対応する必要があ るか?	•	必要性がある(B)	妥当	由	
L	② 対象者のニーズ	0	減少する見込み(A)	<b>—</b>	理	
必要	・対象者のニーズや利用者の需要・要望は増 えているか?	•	横ばい・増加する見込み(B)	妥当	由	
性	③ 行政関与の必要性	0	可能である(A)		理	
ı	・この事業は、行政が実施する必要がある か?民間やNPOなどでも実施可能か?	•	可能ではない(B)	妥当	由	
	④ 廃止した場合の影響	0	影響がない(A)	<b>—</b>	内	
	・この事業を廃止した場合、どのような影響 があるのか?	•	影響がある(B)	妥当	容	
Г	⑤ 指標の達成度・EBPM※の考え方	0	未達成(A)		理	
	・指標の目標値は達成できたか?達成できな かった場合、その理由は何か?	•	達成(B)	妥当	由	
	・指標や目標値の設定根拠は? (エビデンスに基づく合理的な根拠)	達世		女コ	指標の	指標については、事業の対象を観光客としていることから観光客数と設定して
		成率	R6成果指標////////////////////////////////////		の根拠	いる。目標値については、令和4・5年度実績値及び令和6年度見込値から基 準目標値 (R6:2,000,000人) を設定し、毎年0.1%の増加を見込んでいる。
有	⑥ 目的への貢献(具体的な成果)	C	貢献できなかった(A)		理	
効性	・この事業は、意図した目的に貢献できた か。貢献できなかった場合、その理由は何	•	貢献できた(B)	妥当	由	
	か? ・具体的な成果の内容は?				成果	年間約30,000人の利用があり、観光案内や観光パンフレットの配布等を行うことで、観光客の利便性向上及び誘客拡大へ寄与することができた。
	<ul><li>⑦ 類似事業との統廃合・連携の可能性</li></ul>	С	可能性がある(A)			
	・同じ目的を持つ類似の事業があり、統廃 合・連携はできるか?	•	可能性がない(B)	妥当	理由	
Г	⑧ 費用対効果の向上	0	余地がある(A)			随意契約締結相手である厚木市観光協会については、本市 の観光振興を市と共同で担う団体として、市内観光関連事
効率	・随意契約から入札への変更、デジタル化・ DX、外部委託、指定管理者制度、PFS/SIB※2 等により、事業費の削減・費用対効果の向上 は可能か?	•	余地がない(B)	妥当	理由	業者により組織されている市内で唯一の団体であり、他者 にはない観光案内に関する知識とノウハウを有していることから、入札に変更する余地はない。
性	<ul><li>⑨ 業務効率化(業務時間・業務量の改善)</li></ul>	0	余地がある(A)			すでに閑散時間帯を考慮した開所時間の短縮を行い、業務
ı	・作業の見直しや業務改善、デジタル化・ DX、外部委託、指定管理者制度等により、業 務の効率化は可能か?	•	余地がない(B)	妥当	理由	りてに国民が同事を考慮して。 時間や配置人員数の縮減に努めていることから、現状以上 の業務を効率化する余地はない。
Г	⑩ 受益者負担の適正化	0	なっていない(A)		理	観光案内所は、観光を目的とした特定利用者のみでなく、
公平	・受益者負担は公平・公正になっているか?	•	なっている・受益者負担には 該当しない(B)	妥当	由	休憩場所としての機能も有し、広く一般的な利用者も想定 していることから、受益者負担には該当しない。
性	① 制度の周知	0		がた 妥当		観光案内所については、市HPだけでなく、厚木市観光協会 においてもHPやSNSでの発信を行っており、制度周知はで
	・対象者が公平にサービスを受けられるよう、制度を十分に周知できているか?	◉	できている・周知の必要がな い (B)	女彐	由	においてもIIIで5N5での発信を行っており、制度周知はできている。

- ※1 EBPM (Evidence-based Policy Making) …政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化した上で合理的根拠(エビデンス)に基づくものとす ※2 PFS (Pay For Success) …行政課題の解決に対応した成果指標を設定し、指標値の改善状況に連動して委託費等を支払う契約方式 SIB (Social Impact Bond) …事業に係る 資金調達を金融機関等の資金提供者から行い 、その 返済等を成果に連動した地方公共団体からの支払額等に応じて行うもの

**改善** (Action) へ

4 評価 (Check) で (A) を選択した場合は、「(2)担当課による今後の取組」欄に反映してください。

### 5 改善 (Action) (1) 事業継続の評価及び見直しの区分 所管課長評価 手法の適正率 事業の適合率 評価の判定基準 ▶▶▶ 見直し判定 見直し区分(複数選択可) 80%以上 ⇒ 拡大or継続 □ コスト見直し □ PFS・SIB導入 見直 必要性 妥当 効率性 妥当 現行ど 70%以上80%未満 ⇒ □ 作業工程等見直し □ 事業の統廃合・連携 継続 し区 100 100 60%以上70%未満 ⇒ 継続or縮小 おり □ デジタル化・DX □ 負担や周知の見直し 有効性 妥当 公平性 妥当 分 ⇒ 縮小or廃止 □ 委託・指定管理 □ その他 (2) 担当課による今後の取組 事業推進上の課題 具体的な改善案 備考 観光客のニーズを捉えた観光案内に努める 観光案内所の目的別利用者数を集計し傾向分析を実施する。 必要がある。

─ 総評(Follow)へ

6	総評(Follow)		
	所管部長評	価	具体的な指示事項
	一次評価結果を踏まえた 横断的な視点での評価	継続	引き続き、宿泊や観光関連施設の紹介等の適切な観光案内業務を行い、観光客の利便性や満足度を向上させること。

1 基礎作	青報															
事業名 (子事業名)		魅力あふれる観光地形成事業費					費			所属部等	所属部等 産業文化スポーツ部		事業番号	155		
予算区分						Z 常経	<b>圣費事業</b>					所属課等		商業観光課		
予算科目	<u></u>	会計 01 款 35 項 05 目 15			親事業 750 子事業 10				10	所属係等	<b>近属係等</b> 観光振興係					
			₹Λ.	30 %	00 0	10	机手术	100	, ,	- 🛧	10	171 Nag   N. 45		BL/LUX ST IN		
2 計画	(Plan	//////	///		(1,12.1	////		,,,,,,,	/////	////	/////			<b>-</b> 1		
40 A =1 == //	_ ///	基本政策										事業区分			令和7年度予算現額の内訴	
総合計画体系		基本施策 自動				///	/ <i>////////////////////////////////////</i>					<ul><li>○国の制度による義務的事業</li><li>○県の制度による義務的事業</li></ul>			項目(節)	金額(千円)
	///	単位施策 自動表示 の単年度の71													委託料	550
事業の期間	-	○単年度のみ ● 単年度繰									ξ)	○市の制度に				
		○期間限定複数年度 ( ~ 年度)							- (茂)		() 施設等維持					
												○ 補助金等3 ○ 協議会等の				
		厚木市道標マップにより集客の向上を図るため、システムの												日亚		
事業概要	厚っ							ムのi	適切な	● その他の事		<b>长</b> 令等				
争未恢安	運月	運用を行う。									ער	( T/L / Z	4 T →			
															合計	550
」 対象															ны	000
目 対象 (誰を・作	何観分	<b>意図</b> (どうした					観	光客	数の増	加を図る。						
手段																
(どうやって)	) 厚刀	ト 市道標	マッ	プの情	青報の更	新や	適切な運	用を行う	Ō.							
•		現状把提	星・乳	実施(	Do) ^											
3 現状排	巴握・	実施	(D	0)								Anero		人和《左库	A. 10 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	A10.55
(1)事業	費・指	標の推	移								単位	令和5年度 (決算実績)		令和6年度 (決算見込)	令和7年度 (予算現額)	令和8年度 (予算見込)
							国庫支出金				千円					
		事業費			•	県支出金 地方債			千円							
	3			財源内訳				₹		千円						
	7	- * *					その他			千円						
年間							一般財源				千円			330	550	
トータル コスト						事業	業費計(A)				千円	0 330			550	330
							業務に必要な人工				人			0. 1	0. 1	
	,	人件費		正規職員		-	延べ業務時間(年)					·	C	20	20	
							平均人件費(年)				千円	8, 646		8, 884	8, 884	
				人件費計(B) (A) L (B)					千円	0 888 0 1,218			1 420			
(A) + (											·	1, 438	1, 218			
対象数の推移		方向	Î			入	込観光客	数			人	2, 096, 17		1, 933, 781		
活動指標(経常・その	<b>4</b> h)	方向	1	入边			A 観光客数			<u>目標</u> 大 実績		1, 998, 00		2, 000, 000	2,002,000	2, 004, 000
(性帯・ての)	IB/			(//////////////////////////////////////		////			7/1/			2, 096, 17	0	1, 933, 781		MIIIIIIII
成果指標 (総合計画)																
(2) この事務事業の背景・市民意見等			<u>////</u>	<u>////////////////////////////////////</u>								<i>[[]]</i>	(X444111111)			
・関係者(市民、地域、協働の担い手、民間 事業者、議会等)からどのような意見や要望 が寄せられているか?					道標マップの内容を検討し、情報の追加や更新をすることが求められている。											
・直近3か年以内に実施した改善や見直し等 ② の内容は?(監査等からの指摘事項を含む。)				特になし	<u></u>											
③ ・ 争未の対象有への同知方法は ? (指数回答可)				□広報を	□ 広報あつぎ □ 市ホームページ □ 公民館だより □ ポスター・チラシ □ SNS □ その他 (厚木市観光協会ホームページ )											
・他市の北沢は2(県内や類似団体との比						(中本中戦力										

4	<b>評価</b> (Check)				
Γ	① 社会的な要請	○ 必要性は薄れている(A)	57.17	理由	
	・社会的背景や事業環境の変化を踏まえ、現在の社会・経済問題として対応する必要があるか?	● 必要性がある(B)	妥当		
	② 対象者のニーズ	〇減少する見込み(A)		理	
必		● 横ばい・増加する見込み(B)	妥当	由	
要性		〇可能である(A)		理由	
	・この事業は、行政が実施する必要がある か?民間やNPOなどでも実施可能か?	● 可能ではない (B)	妥当		
	④ 廃止した場合の影響	〇影響がない (A)	55 V	内容	
	・この事業を廃止した場合、どのような影響 があるのか?	<ul><li>● 影響がある(B)</li></ul>	妥当		
	⑤ 指標の達成度・EBPM※の考え方	〇未達成(A)		理	
	・指標の目標値は達成できたか?達成できなかった場合、その理由は何か?	<b>●</b> 達成(B)	妥当	由	
	・指標や目標値の設定根拠は? (エビデンスに基づく合理的な根拠)	達 R6活動指標 96.7 %	~-	指標の根拠	指標については、事業の対象を観光客としていることから観光客数と設定している。目標値については、令和4・5年度実績値及び令和6年度見込値から基
		率 R6成果指標////////////////////////////////////			準目標値 (R6:2,000,000人) を設定し、毎年0.1%の増加を見込んでいる。
有効		◯ 貢献できなかった(A)	妥当	理由	
性		● 貢献できた(B)			
	・具体的な成果の内容は?				厚木市道標マップの閲覧者に厚木市の情報を発信すること ができた。
	⑦ 類似事業との統廃合・連携の可能性	可能性がある(A)		理由	
	・同じ目的を持つ類似の事業があり、統廃 合・連携はできるか?	● 可能性がない(B)	妥当		
Г	⑧ 費用対効果の向上	〇余地がある(A)		*m	厚木市道標マップの更新管理業務については、障害等に迅
効		<ul><li>余地がない(B)</li></ul>	妥当		速及び正確に対応するため、システムに精通している構築 業者と随意契約を行っており、入札に変更する余地はない。
率性		○ 余地がある (A)		理由	システムの更新管理作業については事業者に委託してお
	・作業の見直しや業務改善、デジタル化・ DX、外部委託、指定管理者制度等により、業 務の効率化は可能か?	● 余地がない(B)	妥当		り 刊作いしの業数の効率ルけ回ることができないし来る
	⑩ 受益者負担の適正化	〇 なっていない (A)	亚亚	理由	厚木市道標マップは道標や市内の見どころ等を掲載したシ
公平		<ul><li>● なっている・受益者負担には 該当しない(B)</li></ul>	妥当		ステムであり、ホームページ上で公開されている不特定多数を対象としているため、受益者負担には該当しない。
	① 制度の周知	〇できていない (A)	亞业	理	市ホームページのほか、厚木市観光協会ホームページにも
	・対象者が公平にサービスを受けられるよう。制度を大公に関知できているか?	できている 周知の必要がな	妥当		掲載しており、周知ができていると考える。

※1 EBPM (Evidence-based Policy Making) …政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化した上で合理的根拠(エビデンス)に基づくものとす ※2 PFS (Pay For Success) …行政課題の解決に対応した成果指標を設定し、指標値の改善状況に連動して委託費等を支払う契約方式 SIB (Social Impact Bond) …事業に係る 資金調達を金融機関等の資金提供者から行い 、その 返済等を成果に連動した地方公共団体からの支払額等に応じて行うもの

できている・周知の必要がな

い (B)

4 評価 (Check) で (A) を選択した場合は、「(2)担当課による今後の取組」欄に反映してください。

#### 改善(Action)へ 5 改善 (Action) (1) 事業継続の評価及び見直しの区分 所管課長評価 手法の適正率 見直し判定 見直し区分(複数選択可) 事業の適合率 評価の判定基準 ▶▶▶ 80%以上 □ コスト見直し □ PFS・SIB導入 ⇒ 拡大or継続 見直 <mark>必要性</mark> 妥当 効率性 妥当 現行ど 70%以上80%未満 ⇒ □ 作業工程等見直し □ 事業の統廃合・連携 継続 継続 100 100 60%以上70%未満 ⇒ 継続or縮小 □ デジタル化・DX □ 負担や周知の見直し おり 区 有効性 妥当 公平性 妥当 分 ⇒ 縮小or廃止 60%未満 委託・指定管理 🗆 その他 (2)担当課による今後の取組 事業推進上の課題 具体的な改善案 備考 厚木市道標マップに追加するレイヤーやス 学生や厚木市観光振興推進委員等、若者や観光に関して知見を持ポットについて、どのようなものが適切か 検討する必要がある。 後の

総評(Follow)へ

・対象者が公平にサービスを受けられるよう、制度を十分に周知できているか?

6 総評(Follow)	
所管部長評価	具体的な指示事項
	厚木市道標マップに必要なスポットを精査し、利用者が見やすく使用しやすいマップにしていくこと。また、システムの適切な維持管理、運用を行うこと。